

# Web Wave

VOL.03 (2016)



特集

HTMLを書こう！  
Webページのキソを学ぶ

コラム

・デザインを考える  
#3 高専祭パンフが  
完成するまで

巻頭記事

Web研って？  
Web研の活動実績一覧

募集中！

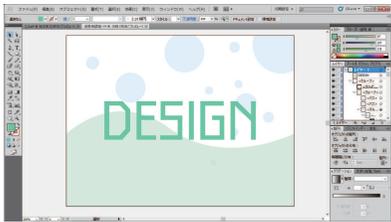
Web研新入部員  
Webページ/ポスター他依頼

# 明石高専のWeb製作研究部って？

2010年4月に創部した部活動。

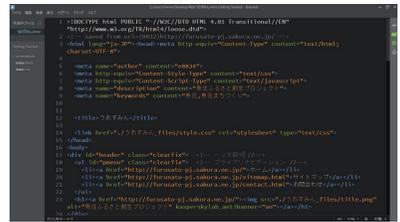
Webサイトからポスター、  
パンフレットまで学生達が制作しています。  
デザインとコーディングの2班に大別でき、それぞれ  
日々技術の研鑽に勤しんでいます。

## DESIGN



デザイン班では、“Illustrator”  
などデザインソフトを用いて  
ポスター、パンフレット、サイト  
などのデザイン制作をしています。  
この部誌の制作もこちら側で  
行っています。

## CODING



コーディング班では、デザイン班が  
制作したサイトのデザインを基に、  
主にHTML、CSS、JavaScriptの  
3つのコンピュータ言語を駆使し  
サイトを制作しています。

HTMLやCSSなどは簡単なので、  
電気情報工学科でなくても気軽に  
できます。

デザイン班、コーディング班、別れているとなんだか  
互いに仲が良くない感じがしますが、どちらか片方が抜けるだけで  
成り立たなくなる部活ですから、手を組みあい作業しています。

## 活動実績

これまでの活動での実績を一部ご紹介します。  
他にも数々制作しています。



### 明石高専 Web製作研究部 公式サイト

リニューアルしたい当部活の公式サイトです。  
情報が古い部分もありますが、入部をお考えの方、ぜひ一度ご覧ください。

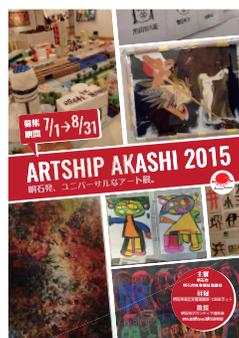


### 笠井秀明 公式サイト

明石高専の校長を務める笠井教授の  
公式サイトです。

### ARTSHIP 明石 2015 公式Webサイト/ポスター

障がいを持つ方の豊かな個性の表現活動と  
アートによるユニバーサル社会の実現を  
目指すアート展の公式サイトとポスターです。  
右の画像はポスターです。  
今年度も現在制作中です。



### 明石高専 文化発表会 ポスター/パンフレット

今年度、平成28年に行われた文化発表会の  
ポスターとパンフレットのデザインを  
手がけました。



# HTMLを書いてみよう！

Web ページの簡単な作り方を紹介します。

イケイケなサイトがすぐに作れるわけではないですが、キソ程度を理解出来たらと思います。

## 1. HTMLについて

HTML はどんな文章を書いたらいいのか教えるための言語です。一番の基礎になります。

ここで HTML を書く上で必要な「タグ」についてちょっと説明します。タグというのは、**マーカーで文章に線を引く**感じで、PC にどんな意味を持つ文なのかを教えるものです。PC に判りやすい線の引き方、それがタグ。

線の始まりは `<○○>`、終わりなら `</○○>` というふうに書きます。○○を書き換えて、様々な線を引くのです。

ちなみに、**線(タグ)は重ねても問題ありません。むしろ、全力で重ねていきます。** こうなるともはや「線」というより「箱」というイメージのほうが合っているような気がする。実際、「入れ子構造」なんて名前が付いてますし。とにかく、実際の例を見ていただいたほうが早いかもしれません。

## 2. CSSについて

CSS は Web ページのレイアウトやデザインを PC に教えてあげる言語です。

これで HTML で書いたタグにさまざまな効果を付けることができます。以下の様な形式で書きます。

```
セクタ {  
  プロパティ : 値 ;  
  プロパティ : 値 ;  
  .....  
}
```

セクタには「タグ」を入力しましょう。今回は紹介しませんが、「id」や「class」といった苗字や名前みたいなものも入力できます。

プロパティが効果の種類、値には具体的にどんな効果にするか指定する部分です。

これを書き連ねてカッコいいデザインに仕上げていきます。

後ほど、実際に例を見てみましょう。

Web ページを構築する言語は他にも



HTML

Hyper Text Mark-up Language  
説明した通り、基礎となる  
言語です。



CSS

Cascading Style Sheets  
HTML をデザイン面で  
補助する言語です。



Javascript

プログラミング言語の一種。  
動きを持たせるなど、様々  
な演出ができます。



PHP

Hypertext Preprocessor  
HTML や CSS を柔軟に  
作成するプログラム言語。

## 3. HTMLを書いてみよう

サンプルの HTML を順に解説しますね。

2 行目、<html> は一番最初を書く = 全体を覆うタグ。この中身は HTML だよって教えます。

1 行目になんか似た感じのがありますが、あれは「おまじない」です。とりあえず書いておけばオッケー。

4 行目 <head> は Web ページの情報をしまうタグ。タイトルや説明などをまとめて入れる箱です。

範囲は 7 行目の </head> まで。 間となる 5、6 行目は全部 head の中身です。

<title>: Web ページにタイトルを付けるタグ。いや、読めば解るって、まあそうですね。

<link>: この後説明する CSS や他のファイルを読み込むためのタグです。範囲はありません。

こういう始まりだけなタイプのタグもあります。後で説明する <br> とかもそうです。

9 行目からの <body> は、内容を書くためのタグ。画面に映したいことをこの箱に入れましょう。

<h1> : 見出し。数字によって見出しの大きさが変わり、最大 <h1> から最小 <h6> まで。

<p> : 段落を表すタグ。本文とか普通の文章を書く時に使えるタグ。

<br> : 文章を改行する時に使うタグ。<link> と同じ、始まりだけのタイプ。

HTML で改行しても、改行とは認識されませんので注意。

<a> : リンク。押すと別のページへ飛んでいく[アレ](#)。サンプルだとグーグルへ行きます。

<a href="〇〇"> という風にして、追加情報をタグに付けることができます。

href の後の "" で囲まれた部分に行先の URL を貼っておきます。

<img>: 画像を表示します。 の〇〇にファイル名を拡張子ごと書きます。

拡張子がわからない方は、写真なら「.jpg」をファイル名の後ろに書き足しておいてください。

16 行目で <html> の終わりを示して、完成です。タグは打ち間違えとてうまく動かないことがあるので注意。

### HTML サンプル

```
01 | <!DOCTYPE html>
02 | <html>
03 |
04 |   <head>
05 |     <title>サイト名</title>
06 |     <link rel="stylesheet" type="text/css" href="example.css">
07 |   </head>
08 |
09 |   <body>
10 |     <h1>タイトル</h1>
11 |     <p>本文<br>だよ<br>
12 |       <a href="http://google.com">google</a>
13 |     <br></p>
14 |   </body>
15 |
16 | </html>
```

(↑ 解説のため行番号を書いています。書く際には必要ありません。)

HTML と CSS は Windows なら「メモ帳」で閲覧・編集が可能です。つまり、お手軽に HTML が書けるわけです。

新規保存のとき、次のページでも書いていますが、「拡張子」にご注意ください。

## 4. CSSを書こう

さて、次はCSS。先ほど書いたHTMLをデザインしていきます。

1行目。「\*」は「全部」という意味です。こうやってまとめて指定することもできます。

margin: 余白の大きさを指定するプロパティ。今回は上下左右全部0という指定です。

border: 枠線の太さや色、線の種類(点線や二本線)などを指定するプロパティ。

今回は太さ0、すなわち「無し」です。

text-align: 文章の行揃えをするためのプロパティ。全体を中央揃えにしました。

8～14行目は<h1>だけに適用されます。

9行目でmarginを指定していますが、ああ、2行目で全部にmargin:0って指定してる！重複！

でも大丈夫です。優先順位が決められていて、こちらを優先してくれます。

「0 auto」は上下0、左右は均等に配置してくれる指定方法です。

width: コンテンツの幅を指定します。高さの時は「height」です。そのままです。

color: 文章の色を指定します。値は「red」だから赤色ですね。きついなら「lightblue」(水色)なてどうでしょう。

background: 背景の色や画像を指定します。色の指定方法はあえて「RGB()」で指定しました。これは赤、緑、青の強さを別々に指定できるので絶妙な色も出ます。RGBの代わりに「red」など名前で指定してもOK。

border-radius: 角の丸さ = 半径を指定します。4つの角を一括で5pxにしました。

padding: 余白です。marginは要素の外側、隙間の大きさを指定しますが、こちらは内側の余白、塗り足しを指定。

paddingやmargin、borderの後ろに「-top」を付けることで上側のみを指定できます。

下は「-bottom」、右は「-right」、左は「-left」を付けましょう。ただし、同時に付けるのは禁止です。

ここまで書いて、全く動きもない派手なサイトができると思います。いくら初歩だからって、これはつまらないでしょう。だから、最後にちょっとだけお遊びを加えます。

<p>に背景を足して、さらに19行目を書き加えます。

transition: 時間的変化を指定するプロパティ。

これ単品では何もしないのですが、22行目以降を足すとその効果を発揮します。

p:hover というのは、<p>にマウスが乗ったとき、

又はスマホでタップしたときだけ適用するものです。

保存して開き、やってみると解ります。背景の色がじんわりと変わるんです。

transitionは、こういう効果を足すものです。

「1秒かけて、背景をじんわり変えろ」という命令が

19行目なわけです。

こうやってたくさんの効果をつけていって、

イケイケなサイトが出来上がります。

### CSSサンプル

```
01 | *{
02 |     margin:0;
03 |     border:0;
04 |     text-align:center;
05 | }
06 |
07 | h1{
08 |     width:200px;
09 |     margin:0 auto;
10 |     color:red;
11 |     background:rgb(200,200,200);
12 |     border-radius:5px;
13 |     padding-top:5px;
14 | }
15 |
16 |
17 | p{
18 |     background:#aaf;
19 |     transition:background 1s ease;
20 | }
21 |
22 | p:hover{
23 |     background:#cac;
24 | }
```

(↑解説のため行番号を書いています、書く際には必要ありません。)

## 5. 最後に

今回作成した Web ページはこんな感じで出来上がるはずですが、もしかしたら日本語の部分が変なことになってるかもしれません。その時は以下の「文字化けしたときは」をお試しください。



それにしても**ダサい**。仕方ないんです、説明に重点を置いたので、デザインは一切考慮してません。そのあたりはぜひ皆さままで頑張ったり、当部誌を振り返っていただければと思います。

説明ご覧いただいて、どうだったでしょうか。「読んだら分かるじゃねえか！」もあったと思います。そうなんです。「タグ」などの独特な物だけ分かっていたら、**何も難しいことはありません**。素人でも読んだら分かるくらい、簡単なものです。他にも <article> とか、そのまんまなのが多いですから。

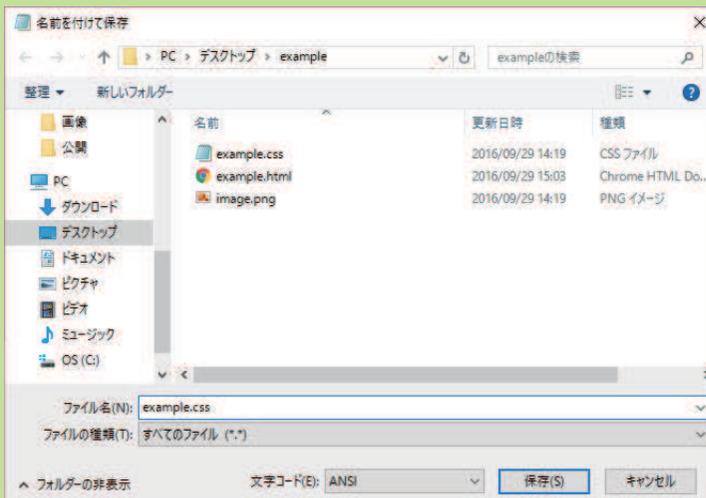
でもこんな全部覚えなきゃいけないのかー！無理！と感じる必要はありません。分からないことはその都度調べればよいんです。**その都度調べればよいんです**。だから**無理して覚えなくていいんです**。

作るのは面倒だしいいやって方も、ウェブサイトを見るときに「こんな感じなんだなー」って興味を持ってもらえるだけで我々は十分です。

## ファイル作成時の注意点

ファイル構成は左図のようにになっている。今回作成したファイルはすべて同じフォルダに入れよう。ファイルを保存するときは拡張子に注意。「フォルダの種類」を「すべてのファイル」にして、「.css」や「.html」までしっかり打つべし。

文字化けしたときは：  
「文字コード」を「UTF-8」にして、HTML に <meta charset="UTF-8"> を <head> タグの中 (8 行目や 9 行目など) に追加してください。



コラム

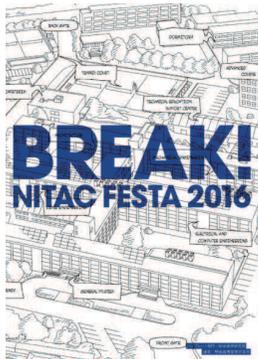
# デザインを考える

#3 高専祭パンフレットが完成するまで

## 01 構想

初めに手を付けたのは、デザイン全体のコンセプトを決める作業でした。これは、デザインに統一感を出すために何よりも優先しなければならない行程です。私は普段何かを制作するときには、見えそうなモチーフやデザインの材料を一つのドキュメントにまとめておくのですが、今回もまずそこから始めました。

パーツが一通り揃った後は、表紙の構想を練る作業に移りました。ここが一番時間のかかった部分です。当然ですが、表紙というのは手にとって最初に目に入るものなので、なるべく印象に残る力強いデザインにする必要があります。そこで、今回の高専祭のテーマである「BREAK!」を大きく配置し、背景には前述のモチーフである、「フレンチコミック」を意識した、明石高専の俯瞰図を



薄々お気づきの方もいらっしゃるかと存じますが、最終的にはフレンチコミックの名作「アンカル」の表紙にかなり寄せたデザインになりました。

今回の場合、以前から興味を持っていた「フレンチコミック(バンドデシネ)」をモチーフとして据え、それに沿うようにデザインのパーツを作って、ひとところにまとめておきました。



(仕切り線)

▲今回作成した素材の一部

配置することにしました。…が、この俯瞰図を描くのとにかく手間。明石高専を上空から撮影した写真が存在しないため、Google Earthを使って、良さ気なアングルでスクリーンショットを撮り、ひたすらマンガっぽく描き写していきました。もう二度とやりたくありません。こうして仕上がった表紙が[左下]のものです。小さすぎて背景は潰れてしまっていますけど。

もっとも、「アンカル」の大胆かつ繊細な表紙絵には到底及ばないことは言うまでもありませんが。

# 02 字体

今回のパンフレット制作では、いままで使ったことのないフォントをたくさん使いました。左半面で書きたいことをほとんど書いてしまったので、右半面はフォントの話で埋めようと思います。まず、表紙の「BREAK!」に使用したフォント。先程も言ったとおり、インパクトが欲しかったので出来るだけ太く目立

ブルー(群青っぽい色)ということだったので、ページ内にもこの色を散りばめる必要がありました。そこで英語タイトル部分を群青にしようと思ったのですが、フォントそのものの個性が強すぎて深い色にすると目立ちすぎたので、少し控えめな感じに仕上げました。それに添える日本語のフォントもあっさり、目に馴染みやすいものにしたつもりです。

挨拶文や展示のコメントなどの長文には「中ゴシックBBB」を使用。こちらは、可読性(部誌vol.2参照)が高く、どんなフォントとも馴染みやすいため採用しました。

最後は、音楽部&合唱団ライブのページのみに使った「A1明朝」です。このコーナーの見出しにも使っていますが、あっさり明朝体らしい部分もありつつ、見出しに使っても印象に残る非常に優れたフォントです。よく

ちやすいものにしたいと思い、あのフォントにしました。フォント名は「**ITC Avant Garde Gothic**」で、雑誌やCDジャケットなどで見かけることも多いかと思います。

続いて、各ページの英語タイトル部分。こちらは、ヨーロッパで少しコーヒーマグの香りがしてきそうな洒落たフォントにしたかったので、思い切って個性的なものにしました。今回の高専祭はテーマカラーがインパクト

## Exhibitions

### 展示

#### ▲タイトル部分

フォント名はそれぞれ、「University Roman」と「ニューシネマB」です。普段なかなか選択肢に入らないフォントだったので、新鮮な気分でデザインできました。

青春群像劇モノの小説の表紙なんかに使われている気がします。個人的には、このフォントを使えばどんな文にでも、青春感とか清涼感を与えることができると思っているのですが、どうでしょう。

それぞれのフォントについてもっと書きたいところですが、スペースにも余裕がなくなってきたので今回はこのあたりで筆を置きたいと思います。それではまた次回。

## 依頼/部員募集中!

### 依頼募集

- ・ イベントやお店などのサイト制作
  - ・ 各種ロゴデザイン
  - ・ パンフレット、ポスターのデザイン
- etc...

相談程度でもお気軽にどうぞ。

右下の連絡先へ。

### 部員募集

- ・ 兼部OK、初心者も歓迎!
- ・ Webサイト制作に興味ある人
- ・ デザイン全般に興味ある人

情報処理センター1階、演習室2前側

火/木曜16:30~18:00、お気軽にどうぞ!

## あとがき

Web製作研究部部誌「WebWave」、いかがでしたでしょうか。  
世代が変わって、著者が変わって。随分と右往左往しながらの  
制作となり、様々な点で大変でした。

今回はWeb研の名前らしく、サイトを中心とした記事作りを  
心掛けていましたが、難しい内容と感じて敬遠されがち  
になりそうで。どぎまぎしながらの執筆です。

このような作業が普段皆さまが目にするサイトで行われている、  
そんな実感が湧いてくると執筆の甲斐があったというものです。

最後まで閲覧いただきありがとうございました。



明石工業高等専門学校 Web製作研究部  
部誌「WebWave」3

発行	2016年10月
発行所	明石工業高等専門学校 Web製作研究部
連絡先	m1305@s.akashi.ac.jp
印刷	株式会社グラフィック



**web  
wave**  
VOL.03 (2016)